



熊本県多良木町議会発行

ただま



ここから
始まる...

6月定例議会

P 2 正副議長あいさつ

P 3 委員会構成決まる！

P 6 どう
お考えか？ 8人が問う！

P 15 国へ主軸事業陳情

動 議会人事決まる!!



信頼される責任ある議会に

議長 村山 昇

暑い日々が続きますが、町民の皆様にはご健勝のことと存じ、暑中お見舞い申し上げます。

この度、五月の初議会におきまして、議員の皆様方のご推挙を賜り、多良木町議会議長の要職に就かせていただくことになりました。身に余る光栄と存ずる次第でございます。

私は、議員経験年数も浅く、浅学非才の身ではありますが、ここに議長の役職をお引き受けしました上は、身を挺してそのご厚情に対し報いるよう覚悟を新たにしているところであります。

議会運営につきましては、中立・公平公正な立場に立ち、議会運営委員会の意見を尊重しながら住民の意見を反映した政策提言等課題解決に向けた議論を深め、更なる定住促進に向け、地方創生の推進に議会としても前向きに取り組み、議会改革も視野に入れ、町民の皆様から信頼される責任のある議会にし、活力ある町づくりと住民福祉の向上を目指し、町政発展に誠心誠意努力する所存でございます。

町民の皆様におかれましては、これまで同様、議会に対しまして深いご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。議長のご就任挨拶といたします。



公正なそして町民の為の論議を

副議長 林田 俊策

議員の皆様方の選挙により、多良木町議会副議長の重職に就かせていただく事ができまして、誠にありがとうございます。想いも寄らぬ重職であり、謹んでお受けいたしたいと思っております。

私は議員経験が十年にはなりますがまだまだ勉強不足で多少の不安感があると同時にその責務の重さを痛感しているところでございます。

皆様方の期待に副うべく誠心誠意努力しその職務をまっとうする覚悟でおります。

議長とともに議会が公正にそして町民のためにおおいに論議する場としてまた、議会の使命を肝に銘じ議会運営出来る様頑張りたいと思っております。

町民の皆様方のため議員の皆様とともにより良い町を作るべくお誓い申しあげ、また、皆様方の一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。副議長のご挨拶とさせていただきます。

新たなメンバーで始

第16期委員会 構成決まる



瀬崎 哲弘



中村 正徳



高橋 裕子



魚住 憲一



吉瀬 浩一郎



山中 馨



豊永 好人



宇佐 信行



久保田 武治



源嶋 たまみ

議会運営委員会
 委員長 中村 正徳
 副委員長 吉瀬 浩一郎
 委員 瀬崎 哲弘
 委員 魚住 憲一
 委員 高橋 裕子
 委員 源嶋 たまみ

**厚生環境文教
常任委員会**
 委員長 中村 正徳
 副委員長 高橋 裕子
 委員 村山 昇
 委員 林田 俊策
 委員 瀬崎 哲弘
 委員 久保田 武治

**総務産業
常任委員会**
 委員長 吉瀬 浩一郎
 副委員長 魚住 憲一
 委員 山中 馨
 委員 源嶋 たまみ
 委員 宇佐 信行
 委員 豊永 好人

**議会活性化
特別委員会**
 委員長 林田 俊策
 副委員長 高橋 裕子
 委員 中村 正徳
 委員 瀬崎 哲弘
 委員 山中 馨
 委員 吉瀬 浩一郎
 委員 魚住 憲一
 委員 源嶋 たまみ
 委員 久保田 武治
 委員 宇佐 信行
 委員 豊永 好人

**議会広報調査
対策特別委員会**
 委員長 山中 馨
 副委員長 高橋 裕子
 委員 林田 俊策
 委員 久保田 武治
 委員 宇佐 信行
 委員 豊永 好人

所属一部事務組合議会等名	議 員 名				
球磨郡公立多良木病院企業団議会	瀬崎 哲弘	吉瀬 浩一郎	魚住 憲一	久保田 武治	豊永 好人
人吉球磨広域行政組合議会	中村 正徳	高橋 裕子	源嶋 たまみ		
上球磨消防組合議会	山中 馨	宇佐 信行			
川辺川土地改良事業連絡協議会	山中 馨				
監 査 委 員	林田 俊策				

平成27年度 一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ 49,585 千円を追加し、歳入歳出の総額を 6,068,306 千円とした。

歳出の主なもの



◎くまもと稼げる園芸産地
育成対策事業補助
11,202千円



◎葉たばこ共同育苗施設管理棟
改修事業補助
1,663千円

みなさんからの陳情・要望

件名及び要旨	提出者の住所・氏名 ※敬称略	付託委員会	備考
多良木町生涯学習センター設置についての要望書	多良木町商工会 会長 味岡 和國 副会長 彌永 磨 副会長 宮本 厚	厚生環境文教	継続
町道永谷線高尾地区の道路改良についての要望書	黒肥地東9区 区長 中野 繁盛 ほか署名者29名	厚生環境文教	採択
黒肥地小川地区農道舗装等についての陳情書	黒肥地8区 区長 新堀 文夫 ほか署名者28名	総務産業	採択
農道舗装についての要望書	多良木9区の2 区長 林田 忠 ほか署名者6名	総務産業	採択

一般会計繰越明許費繰越計算書

事業名	翌年度繰越額
再生可能エネルギー等導入事業費	18,566 千円
消費喚起プレミアム商品券発行事業費	20,650 千円
低所得者生活支援事業費	5,407 千円
多良木町総合戦略策定事業費	9,972 千円
移住定住促進・結婚支援事業費	5,030 千円
無料職業紹介事業費	1,863 千円
観光振興事業費	4,326 千円
未利用木材活用促進事業費	1,625 千円
木材需要拡大推進事業費	5,000 千円
地域活性化住宅リフォーム助成事業費	10,000 千円
木質バイオマス利用施設整備事業費	131,927 千円
経営体育成支援事業費	3,286 千円
青年就農給付金事業費	1,125 千円
飲食店マップ作成事業費	250 千円
町道維持修繕事業費	4,499 千円
町道湯原線整備事業費	27,248 千円
町道小田原庚申線整備事業費	28,500 千円
社会資本整備総合交付金道路事業費	47,450 千円
林業用施設等災害復旧事業費	11,700 千円
合 計	338,427 千円

下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書

事業名	翌年度繰越額
流域関連公共下水道事業費	72,321 千円

※繰越明許費が多い主な理由は、26年度末に交付金の配分がなされたため。

8人が町政を問う

～全ての質問事項～

1. 林田俊策議員（6ページ）
 - ① 地方創生について
 - ② 行政座談会の報告は
 - ③ 27年度施政方針について
2. 源嶋たまみ議員（6ページ）
 - ① 第5次多良木町総合開発計画について
 - ② 槻木夢ビジョン実施計画について
 - ③ 町民からの要望について
3. 久保田武治議員（8ページ）
 - ① 学校給食費の半額助成について
 - ② 町政座談会について
 - ③ 介護保険料について
 - ④ 多良木高校存続について
 - ⑤ 教科書問題について
 - ⑥ 国営川辺川利水事業について
4. 宇佐信行議員（9ページ）
 - ① 企業誘致について
 - ② 地域環境の整備について
 - ③ 農林業振興について
 - ④ 地域振興策について
5. 吉瀬浩一郎議員（10ページ）
 - ① 槻木夢ビジョンと槻木小学校の今後の計画は
 - ② ナビックあさぎり町移転計画の現状把握
 - ③ 多良木町子育て政策の比較対象
 - ④ 第9分団詰所土のう保管場所整備
6. 高橋裕子議員（11ページ）
 - ① 施政方針について
7. 中村正徳議員（12ページ）
 - ① 今後の町政の取り組みについて伺いたい
 - ② 施政方針について
8. 豊永好人議員（13ページ）
 - ① 多良木高校存続について
 - ② 公立多良木病院について
 - ③ 地方創生について

Q 国の「警告」ではないか

A 「裏ではそういうことだ」

林田俊策議員



質問 「地方創生」概要と基本的考えは

松本総務課長

国は人口減少対策と地域経済縮小の克服として①東京一局集中を正し、②若い世代の就労・結婚・子育て希望の実現、③地域の特性に即し地

域課題の解決という三つの観点から「創生」を最重要課題として「創生長期ビジョン」と5カ年総合戦略」を策定し、本町も「地方総合戦略」の策定をする必要がある。

質問 本町の取り組み方は

松本総務課長

町長を総合戦略本部長として本部長を課長会・プロジェクトチームを係長を中心に組織化し、また公募で民間事

業者を選定し人口動向・推計として施策の基本方針を策定の計画を推す。また効果的に推進する為に民間・有識者から推進組織を立ち上げる。

質問 「創生」は2015年に都市圏での高齢化が進み「地方へはお金が回せない現状」が来ると思われその準備をしないか。

町長 「三位一体の改革」以来国に金がないと言われ、「地方消滅」ということにもなりかねない、裏ではそういうことだと思う。

Q 「槻木夢ビジョン」をどこまで実施されるのか

A 地元協議、国や県への補助事業の確保を図り

質問 槻木夢ビジョン実施計画には5つの視点から計画が立てられ何処まで実施されるつもりか。

町長 この計画について、行政が単独で進めるのではなく、地元の方々为主体であること認識し、地域再生活動を展開していくことが重要である。前提として、地元との協議、それから国や県への補

助事業の要望などを図っていきながら議会へ相談し、予算化していく。

質問 先日の行政座談会で槻木地区の危険地域（レッドゾーン）には何世帯あり、避難場所は何処か。

久保環境課長 土砂災害特別警戒区域については槻木地区は28戸となっています。避難場所は槻木小学校の体育館、元下槻木小

学校の体育館を避難場所に指定している。

質問 土砂災害危険住宅移転促進事業があり、レッドゾーン内に居住する方の移転の促進をするのか。

町長 個人の意向を尊重し、行政として大きな働きかけは考えていない。

質問 槻木地区に予算をかけすぎるとい意見が多いが。

町長 槻木地区に予算をかけすぎるとい意見が多いが。



残そう協議会総会

Q 「座談会」の報告を
A 「対応して行政参加の実感」を

質問 行政座談会の報告を伺いたい。
松本総務課長

久米地区41人、黒肥地地区55人、槻木地区28人、多良木地区2回で77人のべ201人である。

「道路改良」「消防災」「旧白浜旅館」「河川管理」等があった。

質問 座談会を終えての町長の感想と今後の対処は。

町長 農繁期でもあり、出席者が少ないと言う感想をもった。出席者は行政に関心をもっておられ、執行部としては4項目の説明にほぼ町民からは質問・要望を受けた。意見交換



座談会風景 (久米地区)

しながらそれに対応し報告していくと行政に参加しているという実感を持たれると思う。

Q 「多良木高校問題」の今後は
A 「存続」と「総会」の決定を尊重

質問 「多良木高校問題」の今後の方針は。

町長 「残そう協議会総会」を終えて「あくまでも施設設備を学校として存続する」方向性を出し、今後県主催の「活用検討委員会」に参加していく。

質問 町民間では「消

防署新築」「専門学校」「全天候型運動施設」と言う声があるようだがどう考えているのか。

町長 町民の声は承知しているが、3万を超える署名と「総会」の決定を尊重したいと思う。

町長 槻木に予算をかけすぎという基準がわからないので、答えのしようがないが、なんら偏ってやっているわけではなく、均衡をとりながらやっている。



聞き取り調査の様相 (槻木)

Q 給食費の半額助成は！
A 親の責任であり、助成は考えていない。

質問 3月議会の「給食費の半額助成に関する条例」への再議について出されてよかったと思われるのか。また、助成は考えていないのか。

町長 良かった、悪かったかという判断が適当なのかかわからないが、給食費は親の責任にお



いてやるべきと思っ
ているので、今後も給食費の半額助成は考えていない。

Q 客土の手続きと成分報告は
A 説明し、整備に着工

質問 大久保地区圃場整備客土に有害物質について書かれていたが、客土の許可をされる場合、成分の報告等はあるのか。また客土までの手続きの流れはどの

ようになっているのか。
町長 県より関係者に搬出土砂の安全性について説明を行った上で工事に取っかかっている。



源嶋たまみ議員

久保田武治議員



Q 子育て・少子化対策として給食費の半額補助できないか

A 保護者が負担すべき

質問 3月議会でも町長が「再議」にかけて廃案になった学校給食費の半額助成は、少子化対策として子育て環境を整備し、教育上も食育として重要なこと。また、もう一人子供がほしいけれど、教育費の負担や将来の生活不安であきらめざるをえない子育て世代の生活を直接、間接的に支援する立場から、郡内で山江村が全額助成、球磨村でも半額助成を実現し、さらに人吉市長や水上村長も実施を公約している。町長はこのような流れをどのように判断されるか。

町長 私は子供が食べる給食費については、保護者の責任と考えており、地方創生で子育て支援、少子化対策を検討したい。

質問 「再議」というのは、政治生命をかけておこなうものだが、再度議会が提案し、学校給食費の助成が成立した場合、また「再議」にかけるのか。



町長 「再議」というものは、重いものなので議会と相談しながらやっていきたい。

Q 公正公平な教科書の選択を
A 先入観を持たずに選択する

質問 今年は中学校の教科書採択の年だが、現在、憲法改定をねらう政府は、戦前の歴史認識について、教科書に政府見解を載せるなど、教育への介入を強めているという指摘が

質問 今年開かれた行政座談会は5会場で201名の参加であった。内容についても、町からの説明が長い。町長は「参加者が少なかった」との感想であったが、錦町では町長・副町長が全行政区26会場に出席して850名の出席。山

Q 各行政区に足を運び住民の声を聞くべきでは
A 住民の声を聞くことは大切

質問 今回開かれた行政座談会は5会場で201名の参加であった。内容についても、町からの説明が長い。町長は「参加者が少なかった」との感想であったが、錦町では町長・副町長が全行政区26会場に出席して850名の出席。山

江村では現在、全16行政区で開催中である。町長はもつと各行政区に直接足を運び、膝を交えて自らのまちづくりのビジョンや思いを伝え、町民の声を聞き、語り合うことがより良い地域づくり、町づくりにつながるのではないかと。

いか。今後座談会のあり方をどうされるのか。町長 なかなか参加して頂けない現状であるが、住民の声を聞くことは大切だと思っております。地域に配置している行政担当者を通して把握しながらやっていく。

ある。憲法を守り、未来を担う児童・生徒が平和国家の主権者として成長するのにふさわしい教科書を選択すべきと思うがどのようにお考えか。

山田教育委員長 平成28年度採択の対象教科書は、すべて教科書検定に合格しており、先入観を持たずに法律にのっとり取り組んでいきたい。



教科書見本

宇佐信行議員



Q 企業誘致についての位置づけは地域資源の活用を

質問 本町でも年々雇用の場が減少しつつあるが、企業誘致雇用創出に具体的にどのような取り組みがなされているか。

町長 いまの社会状況では厳しい状況にあるが、管内10市町村で人吉球磨企業誘致連絡協議会に参加しながら、また、町独自でも努力しているところである。過去3年間で4社ほど企業訪問等をしているが、当初は自動車産業、IT半導体産業等を訪問していたが、県北に

イオマスチップによるエネルギー源として、森林組合委託だけでなく他の林業家への委託も考えているところである。

比べ県南への進出は厳しいので現在、地域資源となる農林産物の加工工場などの誘致に転換しているところである。木材を利用したバ

岡本企画観光課長

誘致企業用地の確保については、町有林の一部と民有地を検討している。

Q 町道・生活道の整備、計画は優先順位をつけて

質問 地域からの要望に対しての現状は。また、危険箇所、緊急車両が通れない処は早急に対処できないか。

久保環境整備課長

各地域からの町道、集落道の整備について現在60件ほど要望書が提出されているが、現在半分程度出来ている状況である。担当課、また上球磨消防組合とも

検討しながら優先順位をつけて整備をやっていききたい。



Q 鳥獣害対策の現状は近隣県と連携し

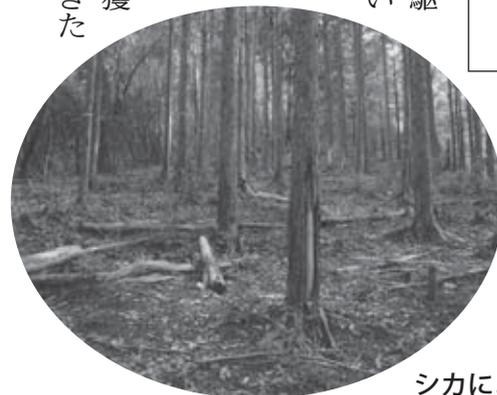
質問 本町の鳥獣害の現状と今後の対策は。

小林農林課長

被害額は過去4年間で3千200万円ほどであるが、最近では猿の被害が大きくなっている。近隣県を含め広域で連携して補助金の額を統一して駆除をやっている。

きたい。また、駆除隊も不足している

るので農林課の職員も罫免許を取得したが、実害を受けられる農林家の免許取得も推進して捕獲活動を行っていききたい。



シカによる剥離被害

Q ふるさと納税の今後の取組は寄附者の利便向上を

質問 ふるさと納税の現状と今後の計画は。

松本総務課長

平成20年度よりふるさと応援寄附条例を制定して、現在482件、810万ほどの寄附金をいただいている。1万円の寄附で送料込5千円相当の特

産物を町のPRを兼ねてメロン、イチゴ、梨、牛肉等を贈呈している。特に今年に入ってから寄附者が急増している。町のホームページで公開しているが今後は、贈呈品の種類も増やしインターネットでの申し込み、クレジット決

済のシステム導入も含め都市部へのPRをする準備をしている。



贈呈用メロン

Q 「槻木夢ビジョン計画」はとりやめるべきでは
A 来年度も予算をあげる計画である

吉瀬浩一郎議員



質問 町全体ではこの10年ほどで毎年平均102名の若い人たちが町外へ転出している状況である。この10年で、約千人もの若い人が町外に出ている。人口流出対策が取られることなく、槻木に傾斜配分的に予算を投入する、「槻木夢ビジョン」計画を図式的に見るならば町当局をあげて町長の出身地域へ公金を投入していることになる。

指定管理者企業の破産、多良木高校再編問題（普通・体育コースを南稜高校へ）、そしてあさぎり町への全日本武道員・ナビックの移転という政治的な大敗北を喫しておられる。「夢ビジョン計画」は

早々にやめて、今後は現実に立脚した税の公平な分配という観点から町全体を眺め、住民が納得される政策に変更すべきでは。

岡本企画観光課長

「槻木夢ビジョン実施計画」に関しては町が一方的に進めるものではなく地元住民と協議し、実現できるものから取り組んでいく。27年度に予算化している



再開校された槻木小学校

のはヘリポートの用地取得費のみである。未だ計画の段階であるが、空き家のリフォームなどの予算は議会の理解を得たうえで28年度に予算化の予定である。

Q 高校廃校の遠因は槻木小再開校ではないのか

A そうではない県も応援している

質問

国は公立小中学校の統廃合の指針を「手引案」としているが、全国で統廃合が進まない事に国も県もい

ら立っている。そのような文脈から出された「統廃合を早く進めるように」という国からのサインである。一昨年、人吉市では3校が廃校になっている。県は県南・県北にかかわらず統廃合を進めてきた。しかし昨年4月に槻木小が再開校した。

これが原因で県の統廃合が進めにくくなったと聞く。そして県は8年間もの長きにわたり結論を出せずにいた「多良木高校実質廃校」の素案を槻木小再開校から「半年後」の10月に出している。物事には原因と結果があり、政治には裏と表がある。多良木高校実質廃校の遠因は槻木小再開校ではなかったのか。

町長 私は槻木小再開校が多良木高校廃校につながったということでは決してないと思っ

ている。県知事も国も委員も「小中学校の統廃合は慎重にやらなければならぬ」と言っている。多良木高校の問題と小中学校の統廃合に関する相関関係はないと思う。県の幹部の話では地方創生の観点から、地域活性化を応援していきたいと言っている。



施設活用が期待される多良木高校

Q 4期目の出馬は

A 現時点では考えていない

中村正徳議員



みの施策課題は、何か伺いたい。

質問 町長は、まだやり残しの仕事があるの
で3期目に出馬したい
と言われたが、そのや
り残しの施策は、現在
どの様に推移している
か。まだ残っているの
で有ればスピード感が
足らなかったのでは。
それとも新しい政策事
案が発生したのか。そ
うあれば4期目も再度
出馬されるかまた、残
任期間の最重点取り組

町長 少子化を止め町
の活性化につなげてい
くと云う事が、まだ行
われていない。多良木
高校の問題、槻木夢じ
ジョンの問題等、これ
からやっていかなけれ
ばならない課題なので
頑張つてやっていきたく
と思う。4期目出馬
・不出馬については、
現時点では、全然考え
ていない。最重要課題
として、やはり一次産
業の活性化に尽きると
思う。

Q 給食費半額助成は

A 保護者の責任で

質問 給食費半額助成

について、町長は給食
費は、親が出すべきで

あり今後も半額助
成は、出来ないとい
う答弁されているが、
段階的助成も出来
なかったのか、今
後、再度議員発議
を出し議決をした
場合でも再議を出
され廃案とされる
のか。
町長 基本的には、

子どもの給食費につ
いては、保護者の責任で
やっていくのが、重要
ではないかと思ってい
る。段階的助成（2割
5割）については、そ
ういう金額の大小では
ないと思っている。今
後、議会との話し合い
の中で、私なりに理解
出来たり、また、逆に
私の言う事を皆様方が
分かって頂ければ話し
合いで議論していきたく
いる。



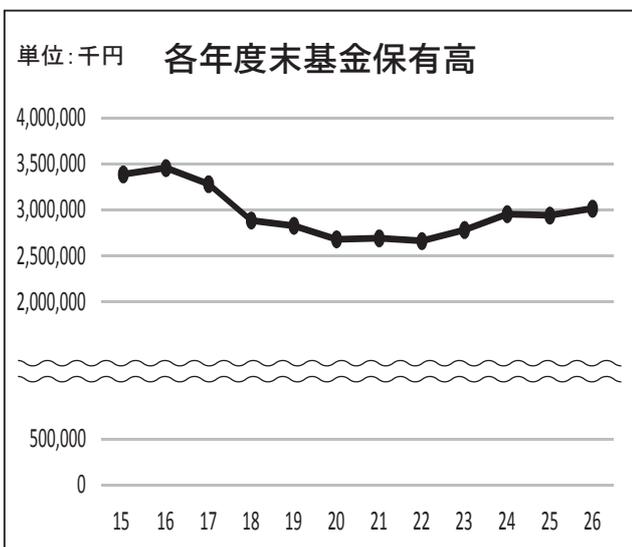
写真は、イメージです。

Q 基金はどれだけ
減ったのか

A 4億5千万円減った

質問 町長は、よく地
方債残高（借金）を10
億円減らしたと言われ
るが、それでは、先人
達が蓄えた基金（貯金）
は、どの位減らされた
のか。

町長 貯金（基金）に
ついては、平成16年度
末に約34億6千万円が、
平成26年度末で、約30
億1千万円なので、4
億5千万円減っている。



すべての基金の推移

豊永好人議員



Q 高校の施設、設備について

A 学校を残すということが主眼

質問 多良木高校の跡地を最大限活用し地方創生と多良木町の活性化に繋がってほしいと思うが。

町長 5高校を残そうという事は郡町村会で決定であり、6月14日の総会において高校の施設設備を活用する検討会というのを県が設置されたので、それに入って良いかという確認をした。多良木高校の施設設備を学校として存続する。趣旨的には、多良木町に高校を残すということが主眼ではある。



広大な敷地の多良木高校

Q

公立病院の安定的経営について

A

医師不足解消に全力

質問 公立病院は医師不足と共に経営難が予想されている。今後このような経営状態が続けば負担金が一層多くなるのでは。

町長 負担金の問題については、4町村長の

質問 人吉、球磨地域が文化庁の日本遺産の認定を受け町長が人吉球磨日本遺産活用協議会の副会長の役職である。今後の本町取り組みや地方創生とどう絡ませて本町の活性化に繋げていくのか。

Q

日本遺産の活用は

A

交流人口等々の増加に遇進していく

町長 副会長ということとで、人吉・球磨10市町村で連携をしている。人吉球磨地域は三十三観音をはじめ多くの文化財が豊富な地域であり、それをなかなか活かしきれなかった。今回の認定で脚光を浴び

ることになる。また、人吉球磨の交流人口等々の増加に遇進していくと考えている。

開設者4人で、赤字にならないように考えているが、地域救急病院として、この地域にはなくてはならない病院なので赤字になった場合には当然4町村で負担していく事を考えて

いる。今後も、重要な問題として医師不足解消に全力で取り組みたい。



地域医療の拠点 公立病院

議長、本会議にて陳謝

今回、私ごとでございりますが、「多良木町議員政治倫理条例」第3条に関連することにつきましてご報告を申し上げます。

今般、私の関係するところを調査しましたところ、平成26年度中に私の二親等の親族が、町の設計監理業務委託契約を行っているということが判明いたしました。

このことにつきましては、二親等の親族が、業務委託を辞退するよう努めるべきところを私の親族に対する働きかけが至らなかったためと皆様に大変ご迷惑をおかけいたしました。

このことに対しお詫びを申し上げます。

なお、平成27年度以降につきましては、町民の皆様に対し、疑惑の念を抱かせることのないようしなければならないということで、町の業務委託については一切辞退するというごこととさせていただきます。

以上報告いたします。

多良木町議会議長 村山 昇

議員発議

提出者 久保田 武治 議員

「要請事項」

現在、国会で審議中の憲法9条を破壊する「安全保障法案」を廃案にすること。

(提出の理由)

安倍内閣が提出し、現在審議中の「安全保障法案」は、①6月4日の衆院憲法審査会で参考人招致された憲法学者3人全員が「憲法違反」の判断を下したこと。②歴代の政権が集団的自衛権は、憲法上の制約で不可能としてきたこと。③日本が攻撃されていなくても、自衛隊が米国の起こす戦争に参戦し、海外で米軍と共に戦う可能性があること。

70年前の侵略戦争の反省から、政府の行為によって二度と戦争をしないと誓った日本を「海外で戦争する国」にしようとする安倍政権の暴挙は絶対に許されない。

したがって政府、国会がこの法案を廃案にされるよう求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

賛成：2・反対：8・棄権：1



反対

豊永好人議員

今回、自分自身の危険に対し武力の行使の「新三要件」による厳格な歯止めを法律案の中にしっかりと書き、そしてさらに国会の承認を得てはじめて集団的自衛権を行使できるということです。

国民の命と平和な暮らしを守りぬく責務は政治家にあると考え国会は最後まで論議を尽くすべきと考えこの発議に反対致します。

賛成

源嶋たまみ議員

今、国会で審議されている法案は「国民を守る為の法案」だと言われますが、世界から見ると「戦争ができる法案」です。歴代の総理も「民意が得られないとして白紙にすべき」と言われています。

この意見書を出すことに賛成です。



多良木町議会活性化特別委員会設置に関する決議について

提出者 林田 俊策 議員

賛成者 中村 正徳 議員・吉瀬浩一郎 議員

上記の議案を、多良木町議会会議規則第13条第1項及び第2項の規定により提出した。

平成27年度 町議会主軸事業に関する 県選出国會議員への陳情・要望

◎安全で安心できる国土づくりに関する提案及び要望

◎農林業の振興と活力ある農山村の建設に関する提案及び要望

地方においては、依然として過疎化・少子高齢化が進展している中、住民が誇りと希望を持った活力ある地域社会を構築することは、地方自治体にとって最も重要な課題であります。

本町は農林業を基幹産業としており、土地基盤整備事業が実施された区域にあっては、稲作を中心に複合的な経営が行われておりますが、北部台地においては、土地基盤の整備が遅れ、農業の近代化を図る上で大きな障害となっております。林業においても、林業生産活動の低下が進行していることから、林業振興策の拡充強化が強く求められています。

また、有害鳥獣による被害が多発していることから、抜本的な被害防止対策が急務となっております。

さらに生活に欠かせない道路においても、未改良区間が残っており、産業経済発展の停滞の一因となっております。

このような状況を鑑み、国におかれましては、財政基盤の弱い町村を重点的に活性化し、地域経済の再生、若者も定住する豊かで住みよい地域社会を築くため、次の事項について、格段のご支援、ご配慮を賜りますようお願い申し上げます。



金子代議士への陳情

平成28年度 多良木町主軸事業要望事項

陳情・要望事項	提案の要旨	関係事項
安全で安心できる国土づくりに関する提案及び要望	地方道の整備に必要な予算の確保を図られたい	(1) 主要地方道人吉水上社会資本整備総合交付金(広域)事業の促進 (2) 主要地方道錦湯前線防災安全交付金(改築)事業の促進 (3) 一般県道中河間多良木線道路整備事業の促進 (4) 一般県道梶屋多良木線道路整備事業の促進 (5) 町道中島線社会資本整備総合交付金(一般改築)事業の促進 (6) 町道口の坪覚井線道整備交付金事業の促進
農林業の振興と活力ある農山村の建設に関する提案及び要望	国営川辺川土地改良事業について必要な支援を図られたい	
	多面的機能支払交付金事業について十分な予算確保を図られたい	
	農業生産基盤の整備に必要な予算の確保を図られたい	(1) 県営畑地帯総合整備事業(担い手育成型)大久保地区(継続地区) (2) 県営水利施設整備事業(基幹水利施設保全型)第二多良木地区(継続地区)
	治山事業の推進を図られたい	(1) 山地災害の防止等地域の安全性を確保するための治山事業の計画的な推進 (2) 保安林整備事業の積極的な推進
	森林・林業再生基盤づくり交付金事業の推進を図られたい	
	森林の再生に向け間伐等の促進に対する補助制度の創設を図られたい	
	有害鳥獣による被害防止に関し、抜本的な対策を図られたい	

その他

- 1 継続事業の事業促進にとどまらず、地方道においては、まだまだ緊急車両などの通行に支障をきたすような未改良区間や幹線道路整備も多くあり、来年度の予算要望へ向けての新規路線の改良要望にも格段のご配慮をいただきたい。
- 2 球磨川流域における住民の安全を守る治水対策として、無堤防地区の整備や河川内の土砂掘削等の河川改修事業を積極的に推進いただきたい。
- 3 全国森林環境税創設の早期実現を推進いただきたい。



田植え準備OK

議会活動

5月11日	第1回	多良木町議会（5月会議）
5月28日	第6回	議会全員協議会
6月4日	第7回	議会全員協議会
6月10日	第8回	議会全員協議会
6月16日	議会運営委員会（6月定例会議）	1回目
6月17日	議会運営委員会（6月定例会議）	2回目
6月17日	第9回	議会全員協議会
6月17日	第2回	多良木町議会（6月定例会議）
6月17日	第10回	議会全員協議会
7月1～3日	議会運営委員会（6月定例会議）	3回目
7月1～3日	上京陳情及び先進地視察研修	

他 ＊総務産業常任委員会

＊厚生環境文教常任委員会

＊議会広報調査対策特別委員会（6月24日・7月8日・15日・22日）

＊一部事務組合議会

球磨郡公立多良木病院企業団議会

人吉球磨広域行政組合議会

上球磨消防組合議会

川辺川土地改良事業連絡協議会

監査委員

等の会議があります。



議会の傍聴においでください

◆お問い合わせ

多良木町議会事務局

☎42-11265

編集後記

今年の梅雨は長い。そんな中、明治日本の革命遺産が世界遺産に登録された。また、球磨地方の文化が日本遺産に登録された。先人の偉大さを改めて感じる。多良木町にも先人が残した偉大な遺産がある。広大な人工林である。町では四年前から雇用促進の一環として皆伐事業を行っている。今年も町有林、久米財産区（有林）合わせて22社の皆伐事業が議会で承認された。これからの町の雇用の場としての役割を期待するとともに感謝を忘れてはならないと思う。今国会で安保法案が審議されている。議員で発議した議員倫理条例も条文の不備が指摘されている。そこには法で定める事の難しさを改めて考えさせられる。国民を守る法が国民を危険にさらす事になる恐れがあることを忘れてはならない。この97号から新しい広報委員で担当します。ご愛読よろしくお願ひします。（山中）

広報特別委員会構成

- ◎山中 馨 久保田武治
- 高橋 裕子 宇佐 信行
- 林田 俊策 豊永 好人